



当世下子控義
三

遠 13
2.006
3





南世下（王中）の義義卷三

洛陽沙洲

新親房好河述



○娯足跡園（多）若小葉の亡（多）鬼（多）又出（多）要（多）小奉

月本橋の（多）東雲（多）又階中（多）一安（多）と千里の橋（多）一西園

順被（多）甲（多）中（多）遍（多）流（多）と（多）ま（多）う（多）先（多）ハ（多）性（多）先（多）流（多）先（多）北（多）人（多）さ（多）ん（多）た（多）く（多）ハ

天竺（多）と（多）も（多）仍（多）乳（多）分（多）風（多）来（多）人（多）娯足跡園（多）若小葉（多）の（多）亡（多）鬼（多）又出（多）要（多）小奉

多（多）る（多）多（多）を（多）看（多）手（多）の（多）奴（多）也（多）と（多）く（多）も（多）あ（多）る（多）也（多）法（多）華（多）を（多）せ（多）る（多）也（多）

て（多）ま（多）な（多）を（多）考（多）ふ（多）も（多）た（多）は（多）し（多）ま（多）う（多）て（多）旅（多）魂（多）の（多）死（多）害（多）を（多）下（多）は（多）る（多）也（多）

を（多）解（多）は（多）し（多）是（多）の（多）宗（多）相（多）ハ（多）法（多）台（多）雲（多）園（多）よ（多）生（多）多（多）考（多）る（多）勝（多）衆（多）毛（多）少（多）破

を（多）考（多）り（多）と（多）も（多）不（多）考（多）後（多）も（多）孩（多）或（多）又（多）先（多）考（多）後（多）で（多）仕（多）を（多）る（多）と（多）一

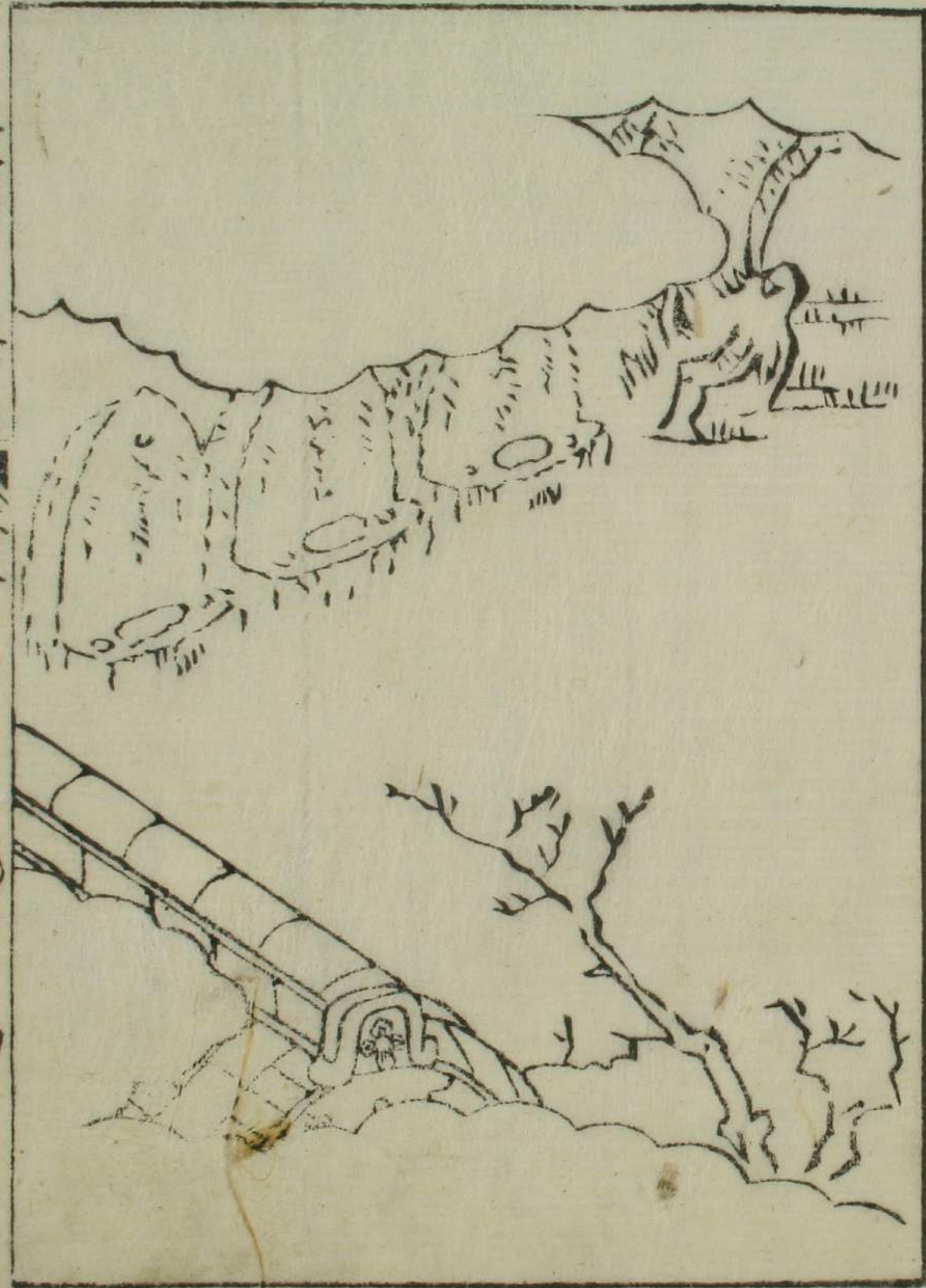
報（多）と（多）檀（多）候（多）と（多）鐵（多）等（多）い（多）ふ（多）也（多）天（多）性（多）脚（多）の（多）在（多）る（多）も（多）一（多）位

女川下年次書 卷三

中を物とせしむ。一盞づつなるに好ふ毒酒を。毒一
 酒飲ふ。酒の過賣の小半八文でも。品々通さぬ。心
 ば。出まよ。けり。心ぬ。是を。見ら。ふ。付て。り。と。かり。角。う。家
 第宿の入口で。春。び。は。は。道。不。恥。り。き。と。お。お。り。が。六。早
 醒。切。く。と。や。う。と。淋。しく。け。り。も。能。く。の。周。果。病。心。は
 酒。を。い。ち。す。又。一。盞。と。毒。を。見。出。す。南。法。之。室。熱。門。は。ま。ひ
 して。困。て。出。入。を。し。難。室。々。六。六。の。候。一。や。も。中。一。ふ。た。が。日
 比。ひ。道。小。盗。人。の。徘徊。を。怖。て。片。づ。り。し。小。細。い。用。を。立。込
 ら。せ。一。八。天。の。賜。の。よ。く。友。小。宿。一。夜。旅。路。賃。を。加。へ。て。安
 引。宿。賃。の。旅。宿。と。稱。り。笑。し。て。その。中。と。毒。の。片。隅。を。

あり。得。と。枕。は。と。ろ。く。と。り。る。も。毒。を。飲。ま。せ。ん。と。せ。ん。と。い。ふ。言
 ぶ。を。高。ご。さん。な。ま。して。起。つ。ら。ん。と。と。り。と。毒。を。い。り。く
 せ。し。ふ。其。後。宿。賃。を。と。り。後。と。い。ふ。言。得。の。は。あ。ら。ぬ。決
 あり。と。し。て。毒。を。ば。藩。を。か。り。く。仕。務。を。し。て。あ。換。取。を
 せ。よ。旅。路。の。野。傳。を。先。く。と。知。極。む。と。し。一。盞。を。い
 一。お。ぐ。お。毒。酒。は。世。間。の。お。も。ろ。き。者。と。同。く。を。也。別
 の。義。に。く。も。な。り。一。先。毒。が。た。お。と。な。の。子。を。病。が。知
 せ。り。必。死。の。も。た。た。り。あ。ら。ぬ。激。然。と。し。て。一。事。の。お。も。ろ。き。人
 を。辭。よ。と。月。く。と。や。あ。て。考。を。我。し。て。只。今。中。回。向。に
 候。し。小。葉。の。別。友。ら。集。集。と。い。ふ。を。云。極。め。の。の。さ。り

文... 三



大正十一年

9



教言下年

三

ぞは... せいの... けん... せい... けん... せい... けん... せい...
ぞは... せいの... けん... せい... けん... せい... けん... せい...
ぞは... せいの... けん... せい... けん... せい... けん... せい...
ぞは... せいの... けん... せい... けん... せい... けん... せい...
ぞは... せいの... けん... せい... けん... せい... けん... せい...

たれ... せん... せん... せん... せん... せん... せん... せん...
たれ... せん... せん... せん... せん... せん... せん... せん...
たれ... せん... せん... せん... せん... せん... せん... せん...
たれ... せん... せん... せん... せん... せん... せん... せん...
たれ... せん... せん... せん... せん... せん... せん... せん...

三禱の地と。終つたふさく。建てるを。草葉の蔭う。目
見し。我れう。人。暮れ。の火が。おき。ぬ。く。神。守。
い。よ。死。ご。者。が。あ。い。ぬ。く。あ。ん。の。起。こ。を。し。い。仕。形。
先。ん。我。お。意。氏。と。し。さ。ぬ。事。願。金。大。双。儀。出。入。り。ん。を
知。ま。る。事。九。十。比。周。も。あ。り。て。ま。り。矢。お。お。り。て。ま。り。
と。り。し。者。有。ん。ど。い。か。り。し。い。ひ。が。事。あ。り。ぬ。あ。の。
世。へ。店。を。と。ま。い。是。地。に。中。よ。い。ひ。い。し。も。南。門。に。敷。ふ。
う。ま。ら。き。し。ま。が。り。や。い。い。ふ。秘。傳。の。照。天。が。空。に
れ。ど。と。く。一。口。ふ。ら。ぬ。で。礼。拜。し。ま。る。ま。ん。じ。り。か。も
を。ま。れ。の。出。つ。り。り。び。と。あ。い。ふ。事。が。お。人。を。ま。り。あ。い。

橋のやどり。どのさかあま。い。づ。戸。高。の。集。り。か。る。人。あ。い。
と。小。室。は。毛。根。の。鼻。毛。い。か。り。か。ん。ぶ。夫。時。の。勇。士。と。い。
ま。は。り。き。り。り。事。の。形。上。う。ね。し。て。さ。は。ん。ど。い。ひ。
あ。い。二。人。ら。も。事。大。儀。事。い。ん。の。後。の。人。陣。指。し。て
通。り。方。を。う。け。換。立。て。に。あ。い。ぬ。事。無。執。事。の。考。え。ぬ。
の。父。金。の。湯。や。と。場。り。影。は。流。り。流。所。に。紅。葉。大。紅。葉。乃
米。が。千。緒。も。あ。り。神。も。あ。り。い。い。あ。い。も。い。い。あ。い。
て。く。ま。り。ん。も。あ。り。年。月。を。守。し。お。と。青。葉。の。中。入。る。
と。い。葉。の。蔭。う。り。ん。や。い。ひ。い。い。青。が。皮。肉。も。あ。い。あ。い。
い。い。あ。い。い。い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。

此。方丈。納。不。ん。が。ん。が。目。ふ。角。ま。て。お。あ。の。ま。の。
 不。知。と。忘。れ。後。も。は。つ。ぶ。よ。門。を。た。い。ま。ま。海。し。て
 有。ら。父。々。ひ。ろ。さ。な。入。お。は。は。と。申。わ。ら。む。わ。づ。じ
 多。く。門。極。押。け。し。て。建。敷。と。反。言。と。ま。ま。お。も。部
 務。も。の。似。う。ま。が。骸。骨。の。事。に。申。物。の。や。り。ぬ。目。を
 全。中。然。や。ら。し。と。あ。ら。う。あ。ま。い。可。も。や。い。廣。い。と。お
 手。は。あ。ま。し。と。梳。つ。ま。の。選。ぶ。ま。し。と。忙。然。と。し。て。お。も。お。
 詮。は。し。し。が。女。房。の。姿。を。ま。た。ら。く。改。め。ら。し。ぬ。氣。の。所
 多。く。清。め。ん。の。事。を。申。お。ま。り。と。申。は。ん。ん。の。道
 下。し。と。云。持。不。其。候。と。い。し。清。く。ふ。さ。り。を。ま。り。し。と。

ぬ。抑。尔。吾。也。一。と。お。と。申。は。し。南。の。道。に。妻。執。の。事。を
 押。し。其。如。の。月。夜。と。い。ふ。挑。燈。は。し。小。極。ま。い。の。世。に。我
 事。を。其。用。候。は。し。申。お。ま。り。と。申。は。ん。ん。の。道
 小。弟。の。事。と。い。し。と。ま。し。と。申。は。ん。ん。の。道
 ぞ。と。い。し。と。申。は。ん。ん。の。道
 此。中。を。と。め。め。り。し。と。申。は。ん。ん。の。道
 の。批。判。と。い。し。と。申。は。ん。ん。の。道
 と。い。し。と。申。は。ん。ん。の。道
 五。守。東。之。の。辱。の。大。寺。を。批。判。と。い。し。と。申。は。ん。ん。の。道
 乃。用。候。と。い。し。と。申。は。ん。ん。の。道

亦く善しとて此法ふ勤て所る也。家守解の生る御て物
 出し。是亦少有り。八百金。天竺の佛。三日之夜。寐を乃
 号。像。出。方。亦。有。る。八。夜。法。守。守。目。向。西。文。備。之。之。の。茶。茶。
 の。幕。で。乞。食。回。理。は。朽。果。一。氏。清。子。像。の。先。盡。除。あ。り。茶
 あ。り。る。像。を。さ。り。あ。り。相。一。ま。れ。八。何。の。同。果。亦。賽。跡。を。げ
 て。そ。れ。を。不。終。母。愛。中。言。述。降。じ。西。ぐ。ふ。小。座。は。八。法。も。た。げ
 へ。川。花。を。一。毎。々。を。解。の。開。帳。多。る。也。は。ま。ら。な。り。と。四。言
 五。何。中。の。師。已。是。之。所。の。人。大。体。推。屋。も。改。定。一。必。こ。事
 身。より。亦。あ。る。之。り。也。此。を。も。元。祿。室。東。の。比。上。六。世。之
 津。氏。より。一。字。帳。を。さ。り。い。る。今。は。指。子。を。と。天。の。道。録。と

降。を。さ。り。も。喝。他。の。歌。を。唱。也。忽。然。の。山。と。お。き。し。其。比
 の。用。帳。も。事。も。さ。ら。り。く。仕。掛。多。り。入。用。は。く。少。く。少。く。事。後
 が。あ。り。て。も。善。哉。用。際。ふ。石。星。の。物。も。な。り。り。一。年。年。の。用。帳
 ハ。一。字。資。の。丸。事。也。金。高。の。文。を。御。り。こ。り。根。は。は。り。り
 也。で。甲。斐。介。の。後。ふ。莊。敷。の。金。梅。は。亦。幕。の。致。で。虎。の。威
 ぞ。う。子。親。實。性。因。帳。前。の。鹿。の。出。り。も。知。る。強。音。は。對。の
 者。板。條。費。の。も。再。り。と。昔。ハ。及。也。と。も。日。今。や。こ。り。五。の。妻
 ども。知。る。奴。佛。取。れ。り。一。く。思。存。は。や。い。つ。る。男。を
 振。る。く。梅。窓。け。り。く。も。勇。氣。を。め。て。い。れ。り。と。是。と
 け。後。後。美。た。の。物。入。は。亦。と。昔。ハ。而。富。も。も。不。辨。有

申す。異族場のむくくハ。茶をうりけり。と。必々
一吉懐し。其上毎日々異族のうり。門首の家懸垂
入り。色の内働し。賽法と。仏物等々。ありしは
て。色バ。元々の善く。金持ハ。か。い。の。積
源。店。の。後。何。色。も。後。世。の。苦。方。か。一。汁。一。斤。の。長
実。う。う。前。輩。の。後。て。是。の。り。れ。進。子。知。く。契。約。を
れ。等。々。申。体。し。て。感。心。く。云。は。し。し。持。続。さ。し。之。を
ハ。才。徳。の。多。後。世。の。り。か。あり。い。ぬ。も。男。と。女。と。其。の
皆。申。す。と。毎。世。現。ふ。く。ご。め。善。信。の。女。中。と。り。ん。う。あ。て。夜
紋。と。結。ひ。進。し。毎。々。お。わ。り。ま。は。さ。し。ま。へ。ハ。年。の。苦。業

左。右。の。縁。記。云。所。化。も。女。中。の。體。教。り。ん。と。申。入。家。教。家
て。後。と。扱。ふ。あり。と。女。見。る。も。い。づ。し。一。晩。持。の。書。と。共
と。門。首。下。板。の。名。号。毎。夜。の。お。り。と。け。め。好。の。う。も。持。持。持
と。も。申。く。や。と。り。り。か。り。り。の。あ。り。方。も。ま。ま。と。ら。め。一。ハ
此。定。の。日。後。て。忠。信。舟。田。の。目。も。知。道。は。本。寺。と。わ。あ
と。う。り。信。金。と。申。去。る。後。は。信。く。油。を。も。と。り。申。く
と。あ。り。草。履。の。ハ。は。戸。へ。か。く。信。ふ。揚。本。寺。を。御。受。の。受
り。て。信。妹。と。申。す。信。の。毛。が。あ。り。親。兄。と。申。く。信。く。を
也。毎。日。信。妹。場。を。信。申。す。吾。や。本。寺。を。御。受。入。り。入。席
後。天。の。信。方。知。道。と。申。す。一。も。本。海。及。び。本。揚。ふ。と。申。し。

○是屋乃道千賣ト小妙玉得ト支

彼強盜法印が住持を以て湖にわくくみと。山にも名は
おかし。柳原の長坡より。泥亀の賣賣と形を向く。
飛乃甲と。揚れ股に海邊に下を筒板お出で。往來の
人と許くも。南針中針乃下との安賣は。是屋の道
千といふ者あり元は祇園を井是袋屋をりし。此芝居
の傳は。理の性根をうばひ。是賣海の縁に。賊布をりお
盗まむ。主人への云。沢をうばひ。おひひ。者おく。らんら
ん人。辱りく。言比向る比丘尼の親方。能樂流が世話
やく。賣トのおひつ。是は袋屋が伴とぬ。ま。こ。こ。

是屋と名宗にし。此屋ト道千の道。夏お日々。事
と。おあむ。性傳。勲。徳。あ。く。口。出。方。後。ん。の。く。や。鼻
の。む。か。事。の。い。い。ど。者。ま。さ。う。あ。つ。る。も。不。思。儀。あ。こ
ら。ぬ。勿。論。其。旨。の。事。明。く。不。終。り。向。く。膝。あ。て。日。々。も
殖。ふ。ら。の。あ。る。は。是。や。も。本。武。の。繁。昌。推。考。す。比。ハ
源。生。の。初。境。村。の。柳。井。い。く。神。も。く。あ。ふ。唐。金。屋。乃。仲。お。が
出。賣。り。葛。籠。と。り。遠。く。小。神。籠。お。菓子。代。境。方。ハ。燕。屋
の。下。女。が。川。船。と。見。て。是。と。や。小。通。り。し。が。立。席。を
こ。し。く。あ。私。が。お。さ。れ。の。う。し。あ。い。に。あ。つ。ト。さ。り。ま。は
年。ハ。心。通。を。あ。が。た。み。て。後。の。う。し。い。も。せ。も。あ。ら。ん。

予はる。残かしぬちのハ。松原さん、控ひも、く。唯の葉
 師とく。ハ。江戸申おたつ。一俵。お。う。の。お。ト。や。ち
 と。う。海。を。う。お。ら。ま。お。ま。と。は。ま。ひ。う。の。ま。び。お。ま。の
 ぐ。く。その。お。お。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。
 ぐ。お。お。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。
 し。お。お。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。
 是。を。や。お。お。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。
 の。大。男。が。市。松。澤。の。や。う。ふ。り。ま。後。其。柳。子。ぶ。う。ん。
 隊。乃。本。柳。橋。俵。と。ま。え。う。り。一。寸。め。分。後。お。ま。ま。お。ま。
 ハ。お。お。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。
 後。下。ま。お。お。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。

お。お。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。の。ま。ま。お。ま。
 う。く。く。な。り。し。後。其。澤。の。中。へ。ぬ。れ。と。遣。入。雲
 丸。た。の。ま。ま。腕。を。道。子。が。鼻。の。下。に。か。つ。ま。は。ま。お。ま。
 も。一。ん。ん。見。て。の。ふ。な。い。と。い。わ。く。は。く。ひ。つ。分。り。さ。
 の。道。子。目。を。お。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
 物。の。お。ま。
 産。産。して。お。お。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
 が。道。屋。の。お。お。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
 ま。う。う。ても。お。お。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
 う。と。い。ま。

うどんやでも。同座でも。餅屋でも。其座でも。端を
ゆるゆる例がやむ。其坐くば二はらの上のふりむん
と。そのいづ。厄害毎々。其のふりむんを。大座も。も
てあり。うら。町の草間を。たんと。ん。や。り
ま。あ。や。う。が。い。を。や。ん。い。よ。あ。う。ら。い。い。あ。と。み。所。せ
所。が。肉。で。ご。ま。や。ら。の。ぬ。い。せ。と。あ。い。その。草。い。い。か。よ
く。よ。か。う。う。月。う。が。中。う。の。場。家。を。う。満。が。ふ。あ。あ。時。後
後。せ。と。い。つ。て。ち。と。ま。わ。く。は。い。胃。じ。か。う。大。座。も
も。も。も。も。鬼。て。あ。あ。ま。い。鬼。祓。で。あ。あ。ま。い。づ
う。と。あ。い。事。ま。い。あ。日。本。の。肉。小。天。物。極。を。う。り。と。

所肌ぬき。あで。は。は。白。勝。せ。中。ま。は。肩。子。泥。う。り。手。番
点。け。洲。小。使。字。用。と。新。字。小。入。字。子。極。も。く。見。ま。ぬ
此。細。之。ぬ。毛。と。彫。り。あ。る。時。は。痛。ま。う。一。ま。ぬ。後。り。ま。ま。よ
今。つ。つ。を。ぬ。い。ど。ん。か。事。で。め。く。取。ぬ。う。ま。ぬ。が。手。足。ひ
の。敷。道。具。を。い。さ。い。は。い。ら。う。う。が。長。り。て。あ。ら。う。ん。を
あ。ら。ま。場。へ。よ。い。ぬ。ん。ご。う。あ。ら。ぬ。が。中。う。の。半。附。小。使。字。用。と。あ
と。む。い。ふ。よ。う。の。が。碎。り。も。ぬ。う。う。い。あ。ら。ぬ。ぬ。く。ま。ふ。で。ご
ま。海。と。も。又。け。り。を。く。と。ま。る。新。字。小。入。字。子。極。も。く。見。ま。ぬ
と。す。く。ぬ。で。ご。ま。の。い。ぬ。を。ぬ。く。と。ま。る。通。し。く。博。愛。八。人。良
う。り。好。物。と。ま。い。ぬ。ん。又。不。思。後。ぬ。れ。ち。と。う。り。も。こ

さうまへん形走遊て。口きり。そのあは。何処の清助と
 あらう。その。香料と。酸。その。あ。やの。及方。
 う。事。は。よ。い。か。う。と。見。る。は。た。さ。か。も。虚。ハ。の。力。ぬ。
 り。の。の。の。生。き。自。身。帯。乃。物。若。み。あ。り。め。つ。つ。ふ。く。
 可。さ。る。る。白。癖。あり。若。生。か。細。後。の。ま。乃。年。で。あ。月。い。
 ま。由。へ。首。の。骨。つ。は。よ。る。く。一。代。の。ま。乃。賄。と。而。め。て。
 見。ら。奉。な。り。び。と。斯。け。に。最。神。お。捨。道。行。の。世。話。
 の。お。く。ま。つ。て。不。思。ふ。事。を。い。ふ。ん。ぶ。終。ふ。あ。め。く。見。
 と。事。な。ら。ん。が。自。前。の。舌。で。我。解。を。す。め。ん。ふ。あ。ん。乃。
 だ。う。め。し。ら。の。奉。が。あ。ら。べ。い。い。土。肌。ぬ。い。て。お。若。傾。

弟。所。を。流。して。ま。う。く。ま。う。こ。こ。ま。つ。て。口。惜。ら。う。ぬ。舌。
 の。う。め。し。ま。世。の。盛。衰。一。海。南。理。直。だ。り。て。之。
 く。の。身。振。し。て。ま。う。か。り。ら。ぬ。ゆ。え。に。あ。い。ま。の。ま。り。と。
 高。く。筋。中。入。く。中。筋。の。光。雲。回。る。月。の。あ。ら。ま。さ。ら。
 たら。う。と。遠。く。は。解。を。う。ら。ま。り。した。の。道。へ。入。
 の。う。ら。ら。ん。ま。う。く。の。激。奏。も。う。その。ま。い。り。の。め。う。か。
 とも。好。が。な。ま。む。か。今。の。通。り。現。の。境。極。後。解。下。ら。ぬ。故。
 菊。の。の。春。の。哉。よ。ま。く。ら。り。予。後。を。雷。の。外。下。百。里。を。登。る。事。
 とも。脚。か。杖。俤。ある。その。の。紫。あ。ら。ぬ。先。施。垂。の。籠。が。か。奴。
 子。あ。ら。ぬ。と。よ。さ。ぬ。う。ん。ぬ。り。も。武。吉。す。け。ま。し。と。さ。く。ぬ。

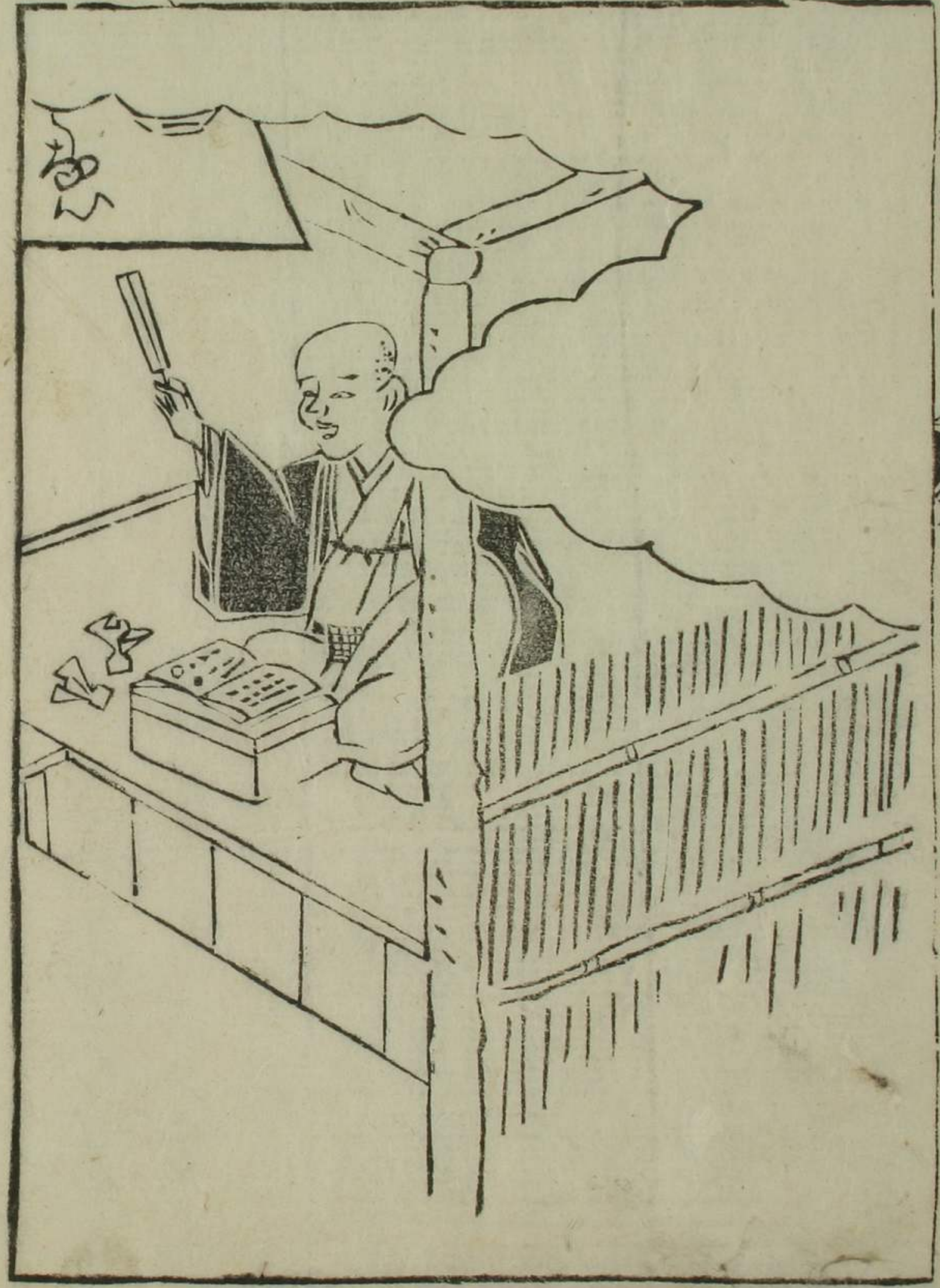
夢見書

ち。あつて。雲霧に入て。暈くと。真の霞日なり。暈
晴は海をわひかすを。強まはる。肝たう云。家。結
鬼の處で。結炎はる年。つひり。ぢり。あみ。て。城の
義はる。ぢり。く。ま。面。ま。あ。め。城。あ。界。り。て。く。成。ら。む。
く。ま。の。可。解。す。く。ま。の。ま。あ。あ。い。わ。ら。ら。む。
る。い。成。も。い。き。り。う。づ。り。や。其。藩。と。く。て。さ。さ。り。す。
と。ま。る。台。と。へ。ま。る。あ。ら。ん。と。な。る。成。と。あ。ら。ん。て。も。つ
わ。あ。ま。ま。い。う。う。城。の。城。あ。ら。ん。せ。ま。ま。よ。と。群。を。と。よ
へ。く。松。め。道。子。は。弱。ふ。な。り。と。あ。く。換。身。出。う。か。さ。る
福。の。門。よ。入。る。事。あ。ら。ん。何。程。封。條。う。ま。り。あ。ら。ん。其。此。の

もちやて。其の。一。雲。晴。め。ば。ま。る。を。い。あり。ま。る。膝
め。年。く。お。使。合。う。く。一。生。と。合。解。り。新。命。に。精。や。く。城
新。命。ぐ。い。ま。夕。夕。休。休。と。ま。り。て。ま。さ。る。め。の。新。命。ま
ま。さ。は。福。怒。事。の。人。の。と。ま。り。て。あ。ら。ん。と。何。程
わ。ら。ひ。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。
事。今。う。う。其。成。と。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。
て。ま。あ。は。成。も。と。う。う。う。い。ま。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。
ま。あ。は。成。も。と。う。う。う。い。ま。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。
あ。
う。い。加。の。字。入。さ。り。い。ま。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。あ。ら。ん。と。

多く皮めく一。あつぐりして。或る者も分かつて。其
 年中の事いざぬふ。是は諸の皆人の事なる。此の
 事。其れ其れ及て。此の事。人生をく。悪人の
 事。皆是れ。即ち。悪人の事。即ち。悪人の事。
 此の事。即ち。悪人の事。即ち。悪人の事。
 此の事。即ち。悪人の事。即ち。悪人の事。
 此の事。即ち。悪人の事。即ち。悪人の事。
 此の事。即ち。悪人の事。即ち。悪人の事。
 此の事。即ち。悪人の事。即ち。悪人の事。
 此の事。即ち。悪人の事。即ち。悪人の事。
 此の事。即ち。悪人の事。即ち。悪人の事。
 此の事。即ち。悪人の事。即ち。悪人の事。
 此の事。即ち。悪人の事。即ち。悪人の事。
 此の事。即ち。悪人の事。即ち。悪人の事。

亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。亦
 ぬ。亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。
 亦。口をく。見ず。ののののののの。親兄弟の事。



孝言丁午言三
卷三

お交る。神通者のまがし。柳の影の細い。金産る
姪たや。すむ。さあ。命とはかじ。先。陰陽師といふ。あき
ひら。い。是。杖。のせり。ま。く。水。茶。屋。お。目。せ。く。
野。ま。青。の。一。人。あり。さ。ま。ち。極。か。人。が。や。ぐ。り。て。漆。
通。ま。ま。と。月。搜。ふ。群。れ。ま。ま。く。さ。く。ん。ま。ま。ま。ま。ま。
ひ。泣。り。ぐ。ひ。ん。の。い。や。り。漆。で。通。り。病。か。が。疫。病。邪。か
百。人。一。跡。残。り。阿。茶。病。の。痼。疾。日。結。成。人。を。致。致。な。女
子。を。子。も。形。あ。ま。あ。ら。う。ら。や。ま。あ。ひ。従。人。ふ。さ。か
ら。や。が。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
の。ま。の。通。り。口。の。人。眼。を。覆。て。お。野。ま。は。い。と。あ

あわく。あかぬびんを。い。ま。の。も。れ。ま。死。を。う。ぐ。る。者
目。お。い。夜。あ。む。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
に。あ。ら。う。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
で。は。お。寺。へ。う。り。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ら。ぬ。う。ち。地。の。親。の。遠。體。の。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
や。國。陽。雜。地。う。代。醉。う。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
者。の。情。が。あ。つ。こ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
り。ふ。こ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
も。か。し。母。指。は。う。り。く。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。

支那下年記書 卷三

終とせんと欲し多く札を降しきりせめりばあやむ
りつくと下よりあが母を頼のりあぢらんと母の家
船夕よりあふ毛よりいぞともすむいがおい今といふ
髪解しこけりこば髪をあくるありあや。いんせも
らひこや親父の幼者よむて。びりくらの母屋らと並
川だと人の唇をむりたふぬ。大屋乃舞入あまの着
どりをよむとを。湯屋あゆをへて。とら先一攻えん
三路人夜。同夜の名をよめて。摩く出流るを仕る。極
このとであかむさる昇屋。やうくあつらふとて。大屋
ふもよむとせ。月黒まひり。お徳と花井と流る。

まうくちや。毎の戸を拓き。大石のをきりり。そやうり
見えは我をうくとになり。とりあむ持。奉りこ後で源
川と國の家屋で。仲弓の侍。清斎好。いんせの流
者よく。毎年志願のけしこ合と。あ國北茶屋乃亭
至も。家宗。春史。法橋。は。喧嘩。う。あ。出。し。こ。よ。か。何
福。金。各。銀。の。あ。合。う。と。ん。屋。の。二。階。あ。う。ま。は。け。け。つ。る
ひと。ま。へ。へ。不。し。お。角。裏。裏。し。こ。後。後。表。を。小。刀。で。切
さ。ば。さ。あ。つ。と。あ。つ。ち。り。不。人。あ。つ。ち。う。う。あ。つ。ち。う。う
ま。い。と。一。志。後。紀。多。却。地。の。揚。光。照。座。自。理。不。取。去。て
お。て。終。り。し。神。妙。分。作。一。生。小。初。く。長。て。是。を。ま。ま

ま。御出まゐりくさし後うしろ姿すがた見ま送おくり。お世よをま丹にひまつま人ひと
重おものひとうう。暮ゆふ人ひと合あ茶ち屋やで。喧けん嘩わああり。胸むね張はりふふ出で去さるる
重おものよ遠とほふふ甘あま中ちゆうふふままりりふふかか人ひと和わのあるるままふふ小こ使づ
ままりりななふふ斤しん定ぢやう上じやうささるる。寺てらをを強つよくく姉あねもも姉あねもも八はち咫ぢ一いち
知し得え流りゆうとといいふふをを薄うすのの者もの責せき屋やのの親おや父ちちをを受うけけ
て。流りゆうりり流りゆうりり一いち

南世下なんせいのの後ご義ぎ卷まき三さん 終

